

## 第94回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：令和3年9月24日（金） 13：30－14：30

2. 場所：中央合同庁舎4号館第2特別会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井委員長代理、遠藤委員、折木委員、後藤委員、中須賀委員、松本委員、山崎委員

(2) 事務局

内閣府宇宙開発戦略推進事務局：河西局長、岡村審議官、恒藤参事官

(3) オブザーバー

宇宙航空研究開発機構（JAXA）：山川理事長

(4) 説明者

内閣衛星情報センター：森田 管理部長

防衛省：大和 防衛政策局次長

文部科学省：生川 研究開発局長

経済産業省：新川 大臣官房審議官

環境省：白石 大臣官房審議官

総務省：藤野 国際戦略局審議官

国土交通省：高田 大臣官房技術総括審議官

農林水産省：山口 農林水産技術会議事務局研究総務官

4. 議事要旨

- (1) 事務局より資料 1-1 に基づき、令和4年度宇宙関係予算について、令和3年度予算額を超える、4847億円の概算要求になった旨、説明があった。また、内閣衛星情報センター、防衛省、文部科学省、経済産業省、環境省、総務省、国土交通省、農林水産省から、資料 1-2～1-9に基づき、具体的な要求内容について説明がなされた。委員からは以下のような意見があった。（以下、○委員からの意見）

○衛星コンステレーション関係については、多くの省庁が関わっているが、重複せずに効率的に進める、出口を見据えて戦略的に取り組むといった観点から、内閣府を中心に各省がしっかりと連携して取り組むことが重要である。また、要素技術開発に留まるのではなく、利用を展開していくための施策を進めるべき。

○スピード感、タイミングが重要。MMXのように科学的成果としていつまでにやるべきというものもある。それ以外も、防災、産業競争力強化、安全保障なども時間をかけずに進めていくという意識も重要。

○輸送システムについて、長期的な戦略の下でスピード感をもって進めていくことが重要。欧米の後追いにならないよう、官民連携して取り組むべき。

○各省で宇宙利用関係の予算が増えつつある中、それを実施する中で得られた示唆を開発側にフィードバックしていくような循環にも取り組んでいくことが必要。

○宇宙太陽光発電に関して、文科省、経産省がよく連携して進めてもらいたい。

○昨年、宇宙予算が大幅に増額したが、これを一時的なものせずさらに伸ばしてくよう努力して欲しい。

(2) 事務局より資料 2 に基づき、宇宙基本計画工程表改訂にむけた今後の進め方(案)について説明がなされ、審議の結果、この案の通り進めることとされた。

以上